

Press Release

2019年6月18日
慶應義塾大学
株式会社コンカー

**慶應義塾大学とコンカーが研究費及び経費管理の
業務プロセス改革に向けた実証実験を共同で開始**
～Concur Invoice、Concur Expenseで、請求書処理・経費精算
の効率化・ペーパーレス化を目指す～

慶應義塾大学（所在地：東京都港区、塾長：長谷山彰）と、株式会社コンカー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：三村真宗、以下 コンカー）は、研究費及び経費管理の業務プロセス改革を目的とした実証実験を共同で開始します。慶應義塾大学で発生する請求書処理にコンカーの請求書管理クラウド「Concur Invoice」を、立替経費精算に経費精算・管理クラウド「Concur Expense」を利用することで、業務効率化・ペーパーレス化の実験を行います。なお、本実証実験環境はコンカーより無償で提供しています*。

* 2019年4月19日 プレスリリース：コンカー、先着10団体の公共機関に対し、経費管理のプロセス改革に向けた実証実験環境の無償提供を開始 (<https://www.concur.co.jp/newsroom/article/pr-poc-for-public>)

我が国では、加速する少子高齢化による労働人口の減少が深刻化する中、業種を問わず、限られたリソースを本業へ集中させるため、最新技術を活用した業務の効率化や簡素化が急務となっています。特に書類の管理、情報共有においては、紙に依存する業務が多く残っており、ペーパーレス化、デジタル化による業務プロセス改革の可能性が期待されています。

実証実験は、慶應義塾大学理工学部の経費精算処理を中心に開始します。理工学部では、毎年約5～6万件の請求書・領収書が発生しており、目視検査による多重チェック、上長承認時や各部署間の紙の証憑の回覧や、回覧後の会計システムへの入力業務が、教職員の大きな負担になっています。

今回の実証実験では、紙の見積書・納品書・請求書・領収書及びそれらを補足する添付書類について、Concur Invoice、Concur Expenseを使って電子データとして管理することで、業務プロセスの効率化やペーパーレス化の有効性を検証します。

大学をはじめとした公共機関における経費管理の業務効率化、ペーパーレス化への期待は、今後さらに高まることが予測されます。コンカーでは2019年4月より、学校法人、中央省庁、地方自治体、独立行政法人、病院等の公共機関向けに、SAP Concur ソリューションの実証実験環境を先着10団体に対して無償で提供することを決定し、公共機関の間接業務・間接費管理のデジタル変革を支援しています。

■株式会社コンカーについて

世界最大の出張・経費管理クラウド SAP Concur の日本法人で、2010年10月に株式会社サンブリッジとジョイント・ベンチャー方式で設立されました。『Concur Expense（経費精算・経費管理）』・『Concur Travel（出張管理）』・『Concur Invoice（請求書管理）』を中心に企業の間接費管理の高度化と従業員の働き方改革を支援するクラウドサービス群を提供しています。

コンカーの詳細については www.concur.co.jp をご覧ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

慶應義塾広報室

担当：村上

TEL:03-5427-1541 E-mail : m-pr@adst.keio.ac.jp

株式会社コンカー

マーケティング本部 担当：安東

TEL:03-4570-4600 E-mail : chika.ando@sap.com